

## 『マイロードサポート事業』アンケート調査結果の概要について

### 1. 調査の目的

今後のマイロードサポート事業を促進するための施策を講ずるうえで参考とするため

### 2. 調査対象

461団体（H26マイロードサポート団体）

### 3. 調査期間

平成26年11月4日～12月1日まで

### 4. 回収結果

回収数 378団体（回収率82.0%）

## ○団体の現状に関する事項

### （1）団体の種別（1頁 グラフ(1) (2)参照）

「自治会」(51%)が最も多く、次いで「企業」(25%)、「有志」(14%)となっている。  
平成20年の調査と比較して、「自治会」の割合が減少し、「企業」の割合が増加している。

### （2）平均年齢（2頁 グラフ(5) (6)参照）

「40代～50代」(51%)、「60代以上」(44%)を合わせると、県全体の95%の団体が「40代以上」となっている。  
平成20年の調査と比較して、「60代以上」の割合が2倍以上に増加しており、平均年齢の高齢化が進んでいる。

### （3）活動内容（3頁 グラフ(7)参照）

活動内容については、各地域とも「清掃」「除草（人力）」「草刈（機械）」を挙げる団体が多い。「除雪」や「剪定」を挙げる団体も一定数あり、マイロードサポート団体は、様々な活動を行っていることがわかる。

また、これらの活動に併せて行う「花壇管理」や「道路施設の破損等の情報提供」は、平成22年度から活動項目として追加されたが、どちらも多くの団体が活動内容として挙げている。

### （4）マイロードサポート事業への参加のきっかけ（5頁 グラフ(13)参照）

各地域とも、「県・市町村担当者からの紹介」が最も多くなっている。  
村山地域では「県ホームページ」、最上地域では「知人からの紹介」も多くなっている。

## ○活動状況に関する事項

### (1) 活動の満足度 (5頁 グラフ(14) 参照)

「非常に満足」(12%)、「ほぼ満足」(68%)を合わせると、県全体の80%の団体が活動に「満足」と感じている。その理由については、「地域住民(会員)がみんな参加してくれるため」「ゴミが減少するなどの効果が感じられるため」「地域に貢献できるため」などがあった。

逆に、活動に「不満」と感じている団体は、県全体の14%となっている。「不満」と回答した理由については、「参加者が集まらないため」「資金不足のため」「事務手続きが大変であるため」などがあった。

### (2) 活動の効果 (6頁 グラフ(16) 参照)

「景観美化」に対する効果を挙げる団体が多く、県内4地域とも80%を越える団体が評価している。「景観美化」により、地域のイメージアップや観光振興につながったとの意見があった。次いで「ポイ捨て減少」や「地域づくり」を挙げる団体が多くなっている。

### (3) 活動の課題 (6・8頁 グラフ(17)・(22) 参照)

県内のいずれの地域でも、課題として「高齢化」を挙げる団体が多く、特に庄内では77%、最上では63%の団体が「高齢化」を課題として挙げている。

次いで、「参加者の減少」「資金不足」を挙げる団体が多くなっているが、県からの活動負担金が「足りている」と回答した団体は19%となっており、活動負担金の増額を求める意見があった。

### (4) 今後の活動展望 (6頁 グラフ(18) 参照)

「現在の活動をさらに拡大」(2%)、「現在の活動を維持」(89%)を合わせると、県全体の91%の団体が今後も現在の活動を縮小せずに継続していきたいと考えている。

## ○事業内容に関する事項

### (1) 活動表示板の評価 (8頁 グラフ(24) 参照)

県全体の48%の団体が「必要」とする一方、20%の団体は「不要」、27%の団体は「分からない」としている。

最上地域では、65%の団体が「必要」と回答しており、地域によって傾向が異なる面も見られる。

### (2) 意見交換会の評価 (9頁 グラフ(25) 参照)

県全体の44%の団体が「どちらともいえない」としており、次いで「必要」とする団体が30%となっている。

### (3) 必要な情報 (9頁 グラフ(26) 参照)

県全体では、「安全上の注意点」「他団体の活動事例」「ボランティア制度の紹介」の順に多くなっている。